



ご存知ですか？

「家族物語」は、

女性スタッフでお手伝いをいたします。

ご葬儀を終えられたご家族にお話をお伺い致しました。

ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。合掌

Interview vol.18

八重幡 勝恵 様

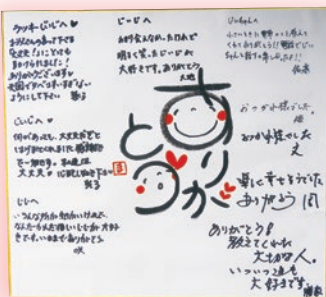


セミナーをきっかけに

血液の癌から舌癌へと転移をし、痛みと闘いながらの5年間でした。またこの5年間は私たち夫婦にとって長年の結婚生活のすれ違いを取り戻す日々だったようにも思います。その夫が亡くなり、セミナー等で足を運んだことのあるシティホール狭山で葬儀をしたいと思ったことと、私が会員だったこともあったので、いわさきさんに依頼しました。

父親として伝えたかったこと

とにかく家族思いの人でした。幼い頃に苦労した彼は、笑顔の絶えない温かい家庭を作るために情熱を注いでくれました。家を自ら設計して、中でも大きなお風呂にはこだわりがあったようです。家族がゆったりと手足を伸ばして一日の疲れを癒せるようにとの優しい気持ちからだったのでしょうか。また、3人の息子には背中中で人生を教えていました。彼が最も伝えたかったこと…それは「ありがとう」です。何事にも感謝の気持ちを込めて接する、夫のこの姿勢は確実に息子たちに受け継がれました。



久しぶりの再開

目に入れても痛くないほどに可愛がっていた初孫にも久しぶりに会うことができました。立派な青年に成長していました。これもお父さんがかせてくれたのだと思っています。



女性ならではの細やかな対応とプロの仕事に感動

いわさきさんが家族全員の写真を撮影してくれました。嬉しかったです。細やかな心遣いに感謝です。女性スタッフがそばにいてくれたことはとても和みました。女性の澄んだ声はとても耳に心地よく、女性ならではの柔らかさは親しみやすく、穏やかでした。おかしな話ですが、葬儀式場にいながらホツとする…そんな雰囲気には満ちていました。また納棺師さんの腕には感動を覚えました。元気な頃のお父さんに戻った!!と目を見張ったほどです。

故人らしい葬儀になり感謝

いわさきさんに支えてもらいながらお父さんらしい葬儀を出せたと思っています。息子たちも頼もしい大人に成長しました。

いわさきさんの包容力に感謝しつつ、前を向いてお父さんの遺志を受け継いで生きていこうと心に決めております。

Interviewer 山川 めぐみ